

経済建設委員会記録

1 日 時 令和4年12月16日(金)
午前 9時58分 開会
午前11時14分 閉会

2 場 所 第3委員会室

3 出席委員 委員長 白川 誉 副委員長 藤田 誠一
委員 合田 晋一郎 委員 井谷 幸恵
委員 高塚 広義 委員 伊藤 謙司
委員 藤田 豊治 委員 仙波 憲一

4 欠席委員 なし

5 説明のため出席した者

・副市長 原 一之

・経済部

部長 宮崎 司 総括次長(農林水産課長) 桑内 章裕
産業振興課長 松原 広 産業振興課参事 大谷 寛
農地整備課長 神野 幸彦 観光物産課長 矢野 佳美

・建設部

部長 三谷 公昭 総括次長(用地課長) 飯尾 誠二
技術監 清水 康治 都市計画課長 町田 京三
道路課長 高橋 宣行 道路課技幹 亀井 英明
建築住宅課長 村瀬 秀昭

・上下水道局

局長 神野 賢二 総括次長 神野 宏
企業経営課長 真鍋 達也 施設管理課長 近藤 民雄

・港務局事務局

企画部技術監 篠原 守昌 港湾課長 山下 武

6 委員外議員 なし

7 議会事務局職員出席者

事務局長 高橋 利光 主事 田辺 和之

8 本日の会議に付した事件
別紙付託案件表のとおり

9 会議の概要

○ 開 会 午前9時58分

●白川委員長：開会挨拶

○原副市長：挨拶

◎港務局関係

◇議案第77号 令和4年度新居浜市一般会計補正予算（第6号）

○山下港湾課長：説明

< 質 疑 >

●伊藤謙司委員：漂流ごみの内容は。

○山下港湾課長：降雨のため上流から流れてきたわらごみや流木などである。

*後刻一括採決

◎経済部関係

◇議案第69号 市有財産の売却について

○松原産業振興課長：説明

< 質 疑 >

●仙波健一委員：埋立て後、地番を定めるのか。

○松原産業振興課長：6月議会で埋立てした土地について新たに生じた土地として議決され、その後、精細な測量、登記を行い、土地の付番を行った。

●仙波健一委員：外4筆となっているが、1つにはしないのか。

○松原産業振興課長：住友化学との協議の中で、合筆はせずに現状のままで渡すということになっている。

●合田晋一郎委員：住友化学は市道に大部分接しているが、土地の利用について把握しているか。

○松原産業振興課長：埋立て前にあった大江橋に代わる道路を整備しており、幅員が広がり、防災機能の向上が図られ、それ以外の土地の大部分については、駐車場用地として活用すると聞いている。

< 討 論 > なし

< 採 決 > 全会一致 原案可決

◇議案第70号 土地改良事業の計画について

○神野農地整備課長：説明

< 質 疑 >

●高塚広義委員：萩生の且之上で別のため池の整備を行っているが、周辺の住民は砂ぼこりや、道路の汚れなどで困っていたが、要望を聞いてもらったようで、保護用のフェンスなどの対策をしてもらっている。今回も住宅地周辺の工事だが、その辺りの対策も含めた工事費なのか。

○神野農地整備課長：話にあった工事については県の事業だが、地元の方からの苦情を受け、県を通じて対策を申し入れ、今は防塵処理などの一定の対策がされている。今回の事業は市の事業で、工事中には環境に配慮した対策を講じていく。具体的には下流の水路、西河川へ汚濁水が流れないように工事範囲を最小限にし、防塵処理なども行いたいと考えている。

●高塚広義委員：工事は原則平日で計画しているか。

○神野農地整備課長：国、県の方からも作業員の働き方改革ということで週休2日制の導入をするようになってきている。受注業者が決まれば、工事実施時間についての対策も行い、どうしても土日が含まれるような工程になれば、地元の方に説明して事業推進したい。

●藤田誠一委員：下池と中池があるが、2か所同時に工事を行うのか。計画を教えてください。

○神野農地整備課長：工程としては、まず、下池から着手する予定。下池については来年度測量設計をし、令和6年、令和7年施工し、その後、中池を令和8年、令和9年で施工したいと考えている。

●井谷幸恵委員：工事内容の詳細は。

○神野農地整備課長：中池は、堤体について押え盛土ということで、堰堤の外側に盛土をして、浸透水による堰堤の滑り抵抗を減らす工事を行う。池側は、波風で堤防が侵食されるのを防ぐため、布製の型枠で保護する。下池は、現在の堤体を全て取り除き、前刃金工法という堰堤の中央に水を通さない粘土層を作る。また、取水施設である斜樋、オーバーフローをする洪水吐を作るという内容。

●仙波憲一委員：工事期間の5年間は全て水を止めるのか。

○神野農地整備課長：代替えの水源が確保できる見込みで、水を空にして通年施工が可能ではないかと考えている。

< 討 論 > なし

< 採 決 > 全会一致 原案可決

◇議案第75号 新居浜市観光交流施設設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について

○矢野観光物産課長：説明

< 質 疑 >

●伊藤謙司委員：値上げ幅の計算方法について、約1,300万円の高騰による支出増加ということでの値上げだが、逆算してこの値段になったのか。

○矢野観光物産課長：今年の燃料費、水道光熱費の高騰分への対応となっており、料金を50円上げる場合、100円上げる場合など、値上げ幅に応じた試算を行っている。1,350万円程度の高騰分を値上げで賄おうと思えば、100円の値上げを行うことで、1,350万円程度の増収が見込まれる試算となっている。100円の値上げでようやく今回の上昇分に何とか対応できるという試算となっている。

●伊藤謙司委員：今後電気料金などが上がることも考えられるが、その場合は今回の値上げ分では対応できないが、もう一度値上げするという事も考えられるのか。

○矢野観光物産課長：利用者に負担を求める料金の値上げというのは、経費増加に応じて即座に行うものではないため、これまでも平成28年のオープン以降、一度も料金は上げなかった。今回は、どうしてもここで料金を上げないといけないということでの値上げとなっている。これ以上経費がかかったとしても、例えばキッズパークなどの他の施設で利用者をより多く取り込むための方策に取り組むなど、観光交流施設全体の利用者増、収入増を図っていくように進めたい。

●仙波憲一委員：事前に購入している回数券はどうなるのか。

○矢野観光物産課長：購入時点の金額で利用可能としている。

●藤田誠一委員：令和5年4月1日からの値上げとのことだが、物価高騰している中で、より早い時期での値上げを考えなかったのか、4月1日にした理由を教えてください。

○矢野観光物産課長：利用者への一定の周知期間が必要と考えた。議論の中では1か月前倒しでという話もあったが、利用者への負担が大きいことを鑑みて、一定の周知期間、理解を得た上で、料金を上げることが適切だと判断し、令和5年4月1日からの値上げとしている。

●藤田誠一委員：様々な物が高騰している世の中で、タイムリーに新居浜市も対応し、仕方がないと思われるのか、数か月先の値上げについて長々と告知をするのかのどちらがいいのかということだが、4月までにどういった周知を考えているか。

○矢野観光物産課長：現地に來る人への掲示等、ホームページ、SNSなどによる周知が考えられる。料金は上がるが、観光交流施設が様々な努力をしているという内容も含めた周知は新居浜市でもホームページ、市政だよりで行う予定。

●藤田誠一委員：利用者への周知期間を考えての4月1日ということではどうか。

○矢野観光物産課長：その通りである。

< 討 論 >

●合田晋一郎委員：値上げに伴い、施設の魅力等をソフト面でどんどん発信し、少しでも利用が減少しないような取組を要望して賛成する。

●井谷幸恵委員：市民の憩いの場所であるため、値上げについて反対する。

< 採 決 > 賛成多数 原案可決

◇議案第77号 令和4年度新居浜市一般会計補正予算（第6号）

○桑内経済部総括次長：説明

< 質 疑 >

●仙波憲一委員：あかがねキッズパークのリニューアル内容は。

○矢野観光物産課長：全体のレイアウトの見直し、一部遊具の入替えを行うことで、より利用者の層に応じた内容の更新を行う予定。

●伊藤謙司委員：どの程度遊具を変更するのか。遊具は処分して新しいものを入れるのか。

○矢野観光物産課長：遊具のうち、利用の少ないものを更新する。動線の関係及びアンケートをとった結果、もっと親子で遊べる場所、親が目の届くエリアを広げてほしいとの要望があるの

で、エアトラックなど該当する遊具は一部取り除き、新しく他の遊具を入れる。全面的に入れ替えるのではなく、奥のレイアウトを変更して、一部遊具を入れ替える。全体の半分程度の様相が変わる予定だが、協議してより良いものにしていきたい。

●藤田誠一委員：工事の際にはキッズパーク全体を使用できなくするのか、それとも、一部使用可能とするのか。

○矢野観光物産課長：利用者への迷惑となることから、2月の定期休館でできる限りの工事を行い、できなかった部分については、一部使用を制限する方法で、全面的に使用できない状態になることは避けて改修していきたいと考えている。目標として、ゴールデンウィークまでには使える状態にしたい。

○宮崎経済部長：ゴールデンウィークまでにはという説明だったが、年度の事業であるため、令和5年3月31日を目標に整備を進めていきたいと考えている。

●高塚広義委員：アンケートで要望を聞いたとのことだが、今回のリニューアルに対してアンケートをとったのか、それともアンケートなどを定期的に行い、その結果リニューアルに至ったのか。

○矢野観光物産課長：指定管理者からの聞き取りからニーズを把握したうえで、今回のリニューアルにあたって別途アンケートをとった。

●井谷幸恵委員：漂着ごみの量は。今回は台風関連ということだが、普段は漂着ごみをどうしているのか。

○桑内経済部総括次長：回収したごみは2トントラックで4車程度、約8トン余りの量。主に草木で、漁船のスクリーンに引っかかるなどして、漁業に差し障りがあるとはいけないため回収した。通常の漂着ごみについてはそこまで大きいものではないため、漁協等で適宜対応していると認識している。

*後刻一括採決

◇議案第84号 令和4年度新居浜市一般会計補正予算（第7号）

○桑内経済部総括次長：説明

< 質 疑 >

●伊藤謙司委員：不用額が生じた理由は。

○松原産業振興課長：事業自体は継続中であるが、商品券の販売が10月31日までであり、販売額が確定したことに伴い、市で負担する額が確定したため、その清算が減額補正の主な部分。

●伊藤謙司委員：当初予算で市の持ち出し分を織り込み済みにも関わらず不用額が出る理由は。

○松原産業振興課長：今回の商品券は市内の各世帯が一冊購入できるルールとしており、約5万8,000世帯分として予算措置を行った。10月31日の商品券販売期間終了時点で、5万8,000世帯全てが購入した状況ではなく、販売率72.7%で4万1,977冊の販売であった。予算の見込みとの差額分が不用額となった。この財源に愛媛県の助成金等を充てていた関係で、経済部の事業ではないが、あかがねポイントの還元キャンペーンに財源を回すということもあり、不用額として確定した部

分の減額となった。

●伊藤謙司委員：助成金等は用途が異なる事業に回せるものなのか。

○松原産業振興課長：愛媛県の助成金を変更する手続きになるが、今回の愛媛県の助成金は、燃料高、物価高の中で消費の冷え込みが県内においても進む見込みのもと、県内市町の実情に応じた消費喚起策に使用する目的で設置されており、県と協議を行い、プレミアム付地域商品券に充てていたものを、あかがねポイントに充てることは、消費喚起策としては適当と判断している。

●高塚広義委員：販売率約72%ということだが、今後周知面での課題があれば教えてほしい。

○松原産業振興課長：昨年度も同様の事業を実施したが、同時期に他のプレミアム付き商品券事業も実施されていたこともあり、当初の販売率が4割程度であった。昨年度の数字と比較すると今年度の数字は消費者にとって一定のニーズがあったということだと認識しているが、100%には至っていない。事業終了後にはアンケートなど振り返りの総括を行う予定で、その中で適切な周知方法や、消費者、販売店のニーズがどこにあるのかなどを分析し、次の事業に生かしていきたい。

< 討 論 > なし

< 採 決 > 全会一致 原案可決

休憩 午前10時48分／再開 午前10時53分

◎建設部関係

◇議案第77号 令和4年度新居浜市一般会計補正予算（第6号）

○飯尾建設部総括次長：説明

< 質 疑 >

●伊藤謙司委員：都市計画策定費について、対象のエリアは居住者の生活を向上させるためインフラ整備を重点的に行おうとしているエリアということか。

○町田都市計画課長：このエリアについては、居住者、市内全体の利便性向上、建設予定の文化センター関係を含め、事業を行えるように立地適正化計画の改定を行おうというもの。

●伊藤謙司委員：文化センター建て替えるため、アクセスを良くするということかと思うが、文化センターありきの計画なのか。

○町田都市計画課長：文化センターへのアクセスも含め、エリア周辺の再整備にあたり、どうすればよいのかを立地適正化計画の中で考えたい。

●伊藤謙司委員：このエリアの住人からすると、優先的にインフラ整備をしてくれるという思いになる。予算付けでの優先順位も上がるかと思うが、いかがか。

○三谷建設部長：文化センターの建て替えに併せ、周辺を都市機能誘導区域としており、住人だけでなく、エリアに他の公共施設もあり、ある程度集約した中での整備を考える中で、最終的にエリア的に考える方が補助をもらえるということで、その案を作っていくという考え方になる。アクセス道路についても都市施設として作るものに対してのアクセスと捉えてまず整備していこ

うと考えている。

●仙波憲一委員：道路橋りょう災害復旧費について、先日、新居浜市が道路橋の5年以上補修未実施数53で全国12位というニュースを見たが、今回の補修の中にそれは入っているのか。

○高橋道路課長：今回の補正分については、台風14号での災害復旧事業に充てたものとなっている。橋梁の補修については橋梁長寿命化事業で進めている。私もニュースを見たが、53橋の出所がはっきりしない。一巡目が終了してできていない橋梁数として53橋というのはあるが、県内にさらに多いところもあると思うが、どうして取り上げられたかは疑問ではある。

●仙波憲一委員：県内、四国の市町村ばかりのランキングというわけでもなく、本州の市も並ぶ中で、全国で12番目と出されるとイメージとして、災害が発生するとまた壊れるのかと思う。そのことに対してどう考えているかは、皆知りたいと思うが。

○高橋道路課長：橋梁長寿命化事業の中で、計画を立てて行っている。今の時点で53橋というデータが出てしまったが、令和4年度、令和5年度に続いて多くの予算を付け、補修もかなり進む予定で、今年度の新たな補正も含め、レベル3であった橋の約93%は補完できるようになっている。ニュースのデータが何なのかわからない状況。新居浜市は県内でも4番目か5番目だと認識している。

●合田晋一郎委員：都市計画策定費について、文化センター建て替えに伴う見直しだと思うが、先日の愛媛県知事選で公約に新居浜警察署の整備を検討するということがあったが、敷地内には県有施設、国の施設もあることを踏まえ、一緒に整備を検討するのか。

○町田都市計画課長：今回の整備は具体的に警察署を行うということは検討されていない。

●合田晋一郎委員：今回もし、整備検討の中で警察署が建て替えという話になれば、県有施設と一緒に整備するという立地適正化の様な形になるが、その様な話や、国の施設については、以前話があった、一体化にも踏み込めるのであれば、令和5年度令和6年度と検討されていくので、時期がくれば、それらを計画に入れるということも可能か。

○原副市長：従来から新居浜警察署の建て替えは、市として要望している。国の施設についても、一団地の官公庁の中で合同庁舎という話もあったが、現時点では、中断している状況。その中で、警察署の整備の検討をするについては県とも話をし、国の動向も再度整備局に確認し、盛り込めるものであれば検討するが、その時期については何とも言い難く、協議はさせてもらいたいと思う。

< 討 論 >

●合田晋一郎委員：災害復旧等速やかな予算執行を要望して賛成する。

< 採 決 > 全会一致 原案可決

◎上下水道局関係

◇議案第79号 令和4年度新居浜市水道事業会計補正予算（第1号）

○真鍋企画経営課長：説明

< 質 疑 >

●井谷幸恵委員：電気代ということだが、動力費に使うということか。詳しくお願いします。

○近藤施設管理課長：動力費というのは、水源地における取水ポンプの運転、送水場中継ポンプ場における送水ポンプ運転に係る電力費である。

< 討 論 > なし

< 採 決 > 全会一致 原案可決

◇議案第80号 令和4年度新居浜市工業用水道事業会計補正予算（第1号）

○真鍋企画経営課長：説明

< 質 疑 > なし

< 討 論 > なし

< 採 決 > 全会一致 原案可決

○閉 会 午前11時14分 閉会

経済建設委員会付託案件表

令和4年12月16日

○港務局関係

議案第77号 令和4年度新居浜市一般会計補正予算（第6号）

第1表 歳入歳出予算補正中

歳出 第11款 災害復旧費

第2項 公共土木施設災害復旧費

ページ

3目 港湾施設災害復旧費 6・41

○経済部関係

議案第69号 市有財産の売却について

議案第70号 土地改良事業の計画について

議案第75号 新居浜市観光交流施設設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について

議案第77号 令和4年度新居浜市一般会計補正予算（第6号）

第1表 歳入歳出予算補正中

歳出 第6款 農林水産業費 5・31・32

第7款 商工費 5・32・33

第11款 災害復旧費

第1項 農林水産業施設災害復旧費 6・40

議案第84号 令和4年度新居浜市一般会計補正予算（第7号）

第1表 歳入歳出予算補正中

歳出 第7款 商工費 5・22・23

○建設部関係

議案第77号 令和4年度新居浜市一般会計補正予算（第6号）

第1表 歳入歳出予算補正中

歳出 第8款 土木費 5・34

第11款 災害復旧費

第2項 公共土木施設災害復旧費 6・41・42

（3目 港湾施設災害復旧費を除く）

第2表 継続費補正 追加 7

第3表 債務負担行為補正 追加

道路整備事業 8

○上下水道局関係

議案第79号 令和4年度新居浜市水道事業会計補正予算（第1号）

議案第80号 令和4年度新居浜市工業用水道事業会計補正予算（第1号）